

クラブ活動報告

地区を越えてのポリオ根絶への思い

堺清陵ロータリークラブ
会長 西内 重広

11月2日に2680地区ポリオ根絶チャリティーコンペに我々2640地区から堺北RC、堺清陵RCの8名が参加いたしました。会場は兵庫県の名門コースである小野ゴルフ倶楽部であいにくの悪天候であったにも拘らず130名を越える参加で盛り上がりました。

主催者側の宮岡ポリオ小委員長のお誘いがあり、地区を越えてのポリオ根絶に少しでも繋がればの思いのもと堺北RC、堺清陵RCの8名で日頃のロータリー活動と同様にゴルフへの情熱も高いメンバーで楽しんで参りました。財団の中のポリオプラスプログラムには各地で様々な取組みが行われています。我々2640地区は藤井ガバナーのもと高野山の、金堂に、おいてポリオ根絶及び新型コロナウイルス感染終息祈願の法会を執り行なうなど多種多様な活動でのロータリアンの思いが窺われます。

私自身もこのポリオ根絶に向けた活動に刺激されたひとりです。

1988年にポリオ根絶を目標とするGPEI(Global Polio Eradication Initiative)世界的な官民イニシアティブ『世界ポリオ根絶推進活動』が発足し約30年間世界はポリオ根絶に向けた取り組みを続けてきました。

子供たちの死亡や、手足の麻痺に繋がる恐れのある病気がポリオです。何より恐ろしいのは、この伝播を止めなければ毎年8億ドル以上が必要と試算され2035年までに節約出来るはずの保健医療費250億ドルが節約出来なくなります。根絶を目の前に決して今ここで諦めてしまってはならないことです。

望まれることは世界中にワクチン接種が行き届くことですが紛争地域では容易ではありません。唯一の方法として政治的、宗教的、社会的な分裂を超えて協力することにあると言われてます。

今後、このポリオ撲滅活動に触発されたイノベーションは他の世界的な健康、平和キャンペーンに幅広い利益をもたらします。それこそ、ロータリー30年にわたる闘いで大きく期待が持てることの喜びでしょう。

今後とも会員一人ひとりが興味を示し、どんな形でも良いので全員が強く参加意識を持つと共に募金活動を熱い思いで取り組んで行きたいものです。

